

日本天文学会 2012 年春季年会のお知らせ

2012 年春季年会は、2012 年 3 月 19 日（月）から 3 月 22 日（木）までの 4 日間、龍谷大学深草キャンパス（京都市伏見区）にて開催します。プログラムや交通案内等は、天文月報の第 105 巻 3 月号（2012 年 2 月 20 日発行）に掲載予定です。

(1) 年会参加費、講演登録費、および年会予稿集代について

2011 年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただくことになりました。支払期限内に必ず料金をお支払いください。

・料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	3,000 円（不課税）	5,000 円（消費税込み）	（ただし講演ありの場合、参加費は無料）
講演登録費	3,000 円（不課税）	10,000 円（消費税込み）	（1 講演につき）
年会予稿集	2,000 円（消費税込み）	2,000 円（消費税込み）	

※会員として年会に参加を希望される方は、講演申込時までに、必ず入会の手続きを済ませてください。

（12 月 7 日（水）までに入会申込書をお送りいただく必要があります。）

講演申込時点での会員種別で、料金をお支払いいただく事になりますのでご注意ください。

※講演申込をされた方は、以下に記す支払期間内に必ず料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は、別途支払期限外事務手数料（1,000 円）を請求させていただきます。

※講演なしで参加のみの場合は、従来どおり、当日年会受付にて参加費を現金でお支払いください。

※金融機関、クレジットカード会社の利用明細をもって、本学会の領収書とさせていただきます。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会 員：講演登録費 3,000 円（1 講演につき）

非会員：講演登録費 10,000 円（1 講演につき）

※講演予稿集は、予約され、会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。それ以外の方で講演予稿集が必要な方は、上記の金額に 2,000 円を足してお支払いください。年会会場でお渡しします。

（例：会員で 1 講演申込み、予稿集を追加した場合は、3,000 円 + 2,000 円 = 5,000 円の支払い）

（例：非会員で 1 講演申込み、予稿集を追加した場合は、10,000 円 + 2,000 円 = 12,000 円の支払い）

※お支払いいただいた講演登録費は、原則として返金いたしません。

・支払期間

2011 年 12 月 1 日（木）～12 月 16 日（金）

・支払方法

原則クレジットカード支払となりました。

<http://www.asj.or.jp/credit/2012a/> より決済の手続きをしてください。

（取り扱いカードは、VISA、MasterCard の 2 種類です。）

支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス（アナザーレーン）を利用しております。

※クレジットカード支払が困難な方は、必ず支払期限内に、年会係 (committee2012@nenkai.asj.or.jp) までご連絡ください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	関連項目
講演申込	(郵 送)	2011年12月12日(月) 必着
	(電子メール)	2011年12月6日(火) 正午 ～12月13日(火) 正午 ^(注1)
		(3), (4), (5), (6) 参照
講演登録費支払期間	2011年12月1日(木) ～12月16日(金)	(1) 参照
複数講演の順序指定	2011年12月20日(火) 正午まで	(7) 参照
ポストデッドライン・ペーパー	2012年3月6日(火) 正午まで	(8) 参照
最新情報コーナー	年会会期中まで	(9) 参照
保育室の利用申込	2012年2月21日(火) 正午まで	(10) 参照
講演の変更など	わかった時点ですぐに	(11) 参照
各種の会合申込	2011年12月20日(火) 正午まで ^(注2)	(12) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	2011年12月1日(木) 正午まで	(13) 参照
正会員用展示ブース	2011年12月1日(木) 正午まで	(14) 参照
懇親会の会期前申込	2012年3月7日(水) まで	(15) 参照
旅費一部補助	2012年1月20日(金) 必着	(16) 参照
ジュニアセッション講演申込	2012年1月27日(金) 必着	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照

(注1) 電子メールの自動受付は2011年12月14日(水) 午前9時までに行いますが、2011年12月13日(火) 正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として2011年12月13日(火) 正午までに投稿してください。

(注2) 2011年12月20日(火) の受付期限を過ぎた場合、年会予稿集、天文月報に案内は掲載できませんが、2012年3月6日(火) 正午まで申込みを受け付けます。

連絡先

◆年会実行委員会 e-mail: committee2012@nenkai.asj.or.jp

委員長 幸村孝由 (年会実行理事・工学院大学)

電話/FAX: 042-628-4113

年会係 長谷川直子 (日本天文学会)

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 太田耕司 (京都大学)

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学大学院理学研究科 宇宙物理学教室

e-mail: ohta@kusastro.kyoto-u.ac.jp 電話: 075-753-3904 FAX: 075-753-3897

年会準備幹事 中山薫二 (龍谷大学)

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

e-mail: nakayama@law.ryukoku.ac.jp 電話: 075-642-1111 (3447)

年会開催期間 (2012年3月19日～22日) の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。
 年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の 18 分野です。
J. 高密度星, **K.** 超新星爆発, **L.** 太陽系, **M.** 太陽, **N.** 恒星, **P1.** 星形成, **P2.** 系外惑星, **Q.** 星間現象, **R.** 銀河, **S.** 活動銀河核, **T.** 銀河団, **U.** 宇宙論, **V1.** 地上観測機器 (電波), **V2.** 地上観測機器 (その他), **W1.** 飛翔体観測機器 (X 線・ γ 線), **W2.** 飛翔体観測機器 (その他), **X.** 銀河形成, **Y.** 天文教育・その他
- 「企画セッション」は次の 2 件です。
 - A.** 「プラズマ宇宙物理」(3 学会合同セッション) (略称: プラズマ)
 世話人: 松元亮治 (千葉大), 柴田一成 (京都大), 犬塚修一郎 (名古屋大), 新田伸也 (筑波技術大)
 - B.** 「X 線天文衛星 ASTRO-H で拓く新世紀のサイエンス」(略称: アストロ H)
 世話人: 山内茂雄 (奈良女子大), 上田佳宏 (京都大), 大橋隆哉 (首都大), 片岡 淳 (早稲田大), 北山 哲 (東邦大), 高橋忠幸, 竹井 洋 (ISAS/JAXA), 中澤知洋 (東京大), 馬場 彩 (青学大), 藤本龍一 (金沢大), 松下恭子 (東京理科大), 嶺重 慎 (京都大)
- 企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます。講演者は世話人に対して講演申込みを行います。tennet などに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込みの際は世話人からの指示に従ってください。
- **A**「プラズマ宇宙物理」は物理学会, 地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS), 天文学会が, 3 学会合同で開催しているセッションで, 今年度は天文学会が主催で行うものです。

(4) キーワード

- 分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- 観測機器分野 (地上・飛翔体) で, 関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。
- 特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び, それらをキーワード欄の先頭に入れてください。

◎推奨キーワード

- 高密度星 : 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X 線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
- 超新星爆発 : 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
- 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
- 恒星 : 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
- 銀河 : 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
- 銀河形成 : 銀河進化, 化学進化
- 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
- 飛翔体観測機器: 電波, 赤外線, 可視光, X 線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- (a) 口頭講演 (9 分間の口頭発表と 3 分間の質疑応答); (b) ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと 3 分間の口頭発表); (c) ポスター講演・口頭発表なし (ポスターのみ) の 3 種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。
- 講演者 1 人あたり可能な講演数は最大 3 件までです。また, (a) 講演は 1 人 1 講演までで, 3 件目の講演は (c) 講演 (ポスターのみ) に限ります。
- 口頭発表用にプロジェクトを用意します。プロジェクトに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ポスター 1 枚あたりのボードの大きさは, プログラムに掲載します。(通常は縦 180 cm, 横 90 cm です。)

(6) 講演の申込方法

◆郵送による申込みの場合

- 規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- 規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上、e-mail または FAX で天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申込みの場合

- 年会の Web ページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i) 十分な背景説明を行うこと、(ii) 研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2012年2月20日付で発行する予定です。年会のwebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際には、十分ご注意願います。

※講演者は氏名の欄で○をつけてください(必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

(7) 複数講演の順序指定

- グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記1,2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号(分野、発表形式を含む番号)、2. 講演者名

(b) 講演は3件一括りが原則です。3件に満たない場合は、最初か最後に並べてください。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDLは、緊急性・トピックス性に富んだものに限ります。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由(個人的理由は不可)が必要です。通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- 上記の理由を添えて予稿原稿を期日までに年会実行委員会宛に送付してください。
- PDLの講演方法は、(b) ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)、または(c) ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)です。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- 最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースがなくなれば、受け付けを終了します。

(10) 年会会期中の保育室

- 保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲載します。不明な点は年会実行委員(保育室担当)へe-mail (hoiku2012@nenkai.asj.or.jp) でお問い合わせください。

(11) 講演のキャンセルや変更

- やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更する理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。
- 講演登録者は、講演申込み後にキャンセル等しても講演登録費の返金はありません。

(12) 年会時の各種会合

- 会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> よりお申込みください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限ります。
- 申込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 2011 年 12 月 20 日の受付期限を過ぎた場合、年会予稿集、天文月報に案内は掲載できませんが、2012 年 3 月 6 日（火）正午まで申込みを受け付けます。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- 多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員会までご相談ください。

(14) 正会員用展示ブース

- 正会員用の展示ブースのスペースを設ける予定です。詳細は年会の Web ページおよび、TENNET でお知らせします。

(15) 懇親会

- 懇親会は、3 日目（2012 年 3 月 21 日（水））夜に、龍谷大学深草学舎生協 3 号館食堂にて開催予定です。会費は天文学会員かどうかにかかわらず、一般 5,000 円、学生 3,000 円の予定です。ただし参加券は 250 枚までの限定となっており、なくなり次第販売を終了させていただきます。会期前申込みの時点で参加券がなくなった場合、当日券の販売はいたしません。
- 会期前申込みは、後日 tennet でお知らせする Web ページからか、ハガキで申し込んでください。ハガキの場合は、氏名、連絡先（できれば e-mail アドレスも）、一般/学生の区分を明記して、年会開催地理事宛にお送りください。締切は、Web の場合は 3 月 7 日まで（ただし、参加券完売の時点で申込ページを閉じます）、ハガキの場合は 2 月 23 日必着とさせていただきます。
- 懇親会の開催準備のため、参加希望の方は、できるだけ会期前申込みをご利用ください。

(16) 旅費一部補助

- 日本天文学会では、正会員（学生）に年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、年会の Web ページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> をご覧ください。

幸村孝由（年会実行委員長）

日本天文学会 第14回ジュニアセッションのお知らせ

中学生・高校生・高専生が天文学会年会の場で発表するジュニアセッションを、2012年の天文学会春季年会で開催します。天文や宇宙に関係することについて、観測・研究したり調べたりしたことがあれば、なんでも発表できます。発表は下記のとおり募集しますので、ふるって応募してください。多くの皆さんの参加を期待しています。

◆日時・場所

日本天文学会 2012年春季年会にて

2012年3月19日(月)～22日(木)、龍谷大学 深草キャンパス(京都市伏見区)

- 口頭発表: 3月20日(火・祝)
- ポスター発表: 年会会期中

※参考情報: 交流会・高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)全国フォーラム
期 日: 3月19日(月)18時～20時(予定)
会 場: 京都コンピュータ学院 京都駅前校
所在地: 京都市南区西九条寺ノ前町10-5

<http://www.kcg.ac.jp/facilities/schoolhouse/ekimae.html>

問い合わせ: メールにて次のアドレスへお願いします。

info@astro-hs.sakura.ne.jp

詳細は、Astro-HSのウェブサイト

(<http://www.astro-hs.sakura.ne.jp>)等でお知らせします。

◆発表を申し込める人

- 小学生(高学年)、中学生、高校生、高専生(1～3年)など10歳台の方。高校卒業後は1年以内まで。(以下では、簡単のために「生徒」と表記)
- 個人または団体(グループ)。
- 申し込みの手続きは、代表者(生徒でも指導者でもよい)が行ってください。連絡には主に電子メールを使いますので、電子メールが使える方を代表者にしてください。ただし、電子メールが使えない場合には個別に対応しますので、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- 発表の著者名は、生徒のみにしてください。

◆発表の内容

- 天文学や宇宙に関係する研究。(高専4年次以上および大学で行った学習や研究は除きます。)

◆発表の方法

- 発表には、口頭発表(希望者)とポスター発表(全員)があります。
- 口頭発表を希望する場合にも、ポスター発表は行ってください。これは、発表件数が多い場合など、口頭発表の時間が短くなってしまうか、口頭発表ができない場合も考えられるためです。
- ポスターのみで発表することも可能です。年会会場への参加が望ましいですが、遠隔地のためなど会場まで来ることが困難な場合、実行委員までご相談ください。

◆申し込みの方法とその受理

- 発表の申し込みは、2012年1月27日(金)必着です。
- 申し込みは、ジュニアセッションのウェブサイト(下記)から行ってください。ウェブサイトにおいて申し込みフォームへ記入し、送信してください。同時に、発表内容をA4で2ページにまとめた予稿原稿を申し込みフォームから送ってください。申し込みフォームは、2012年1月4日(水)より開設します。

- 予稿原稿の書き方などにつきましては、ウェブサイトに掲載いたします。
- インターネットにアクセスできない場合や、電子メールが使えない場合には、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- 申し込まれた発表については、ジュニアセッション実行委員会で審査いたします。

◆発表の手段

- 口頭発表は、パソコンによるプレゼン形式となります。その他の発表の手段を希望する場合には、下の問い合わせ先までご連絡ください。
- ポスター掲示用のボードの大きさは、縦 180 cm×横 90 cm を予定しています。

◆セッション参加についての留意点

- ジュニアセッションだけに参加する場合（発表および聴講）は、年会の参加費や講演登録費をお支払いいただく必要はありません。年会受付（口頭発表の日にはジュニアセッション専用の受付を設置する予定）での手続きのときに、ジュニアセッションのみに参加することを申し出てください。
- 生徒の方は、そのまま通常のセッションを聴講しても構いません。（生徒以外の方がジュニアセッション以外のセッションを聴講される場合には、参加費をお支払いください。）

◆ウェブサイト

- ジュニアセッションの発表申し込みなどについての情報や過去の発表内容につきましては、ジュニアセッションのウェブサイト (<http://ursa.phys.kyushu-u.ac.jp/jsession/>) をご覧ください。日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> からリンクがあります。

◆ジュニアセッション実行委員および世話人（2011年1月～）

実行委員：

山岡 均，石川直美，大西浩次，篠原秀雄，西村昌能，畠 浩二

世話人：

永井智哉，鈴木文二，谷川智康，内藤博之，長谷川直子，松本直記，室井恭子，吉川 真

◆ジュニアセッションについての問い合わせ

ジュニアセッションにつきましては、お近くの実行委員や世話人、または下記のジュニアセッション実行委員長まで、お問い合わせください。実行委員や世話人の連絡先は、ジュニアセッションのウェブサイトに掲載されています。発表内容等についても、お気軽にご相談ください。

ジュニアセッション実行委員会 委員長 山岡 均（九州大学）

TEL & FAX: 092-642-3898（留守番電話）

e-mail: yamaoka@phys.kyushu-u.ac.jp

住 所：〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院理学研究院 物理学部門